

総括質疑

新年度予算や市長の施政方針に対する総括質疑の一部を掲載します。

新風会

大竹 隆一 議員

質疑 平成30年度予算の特徴や財源の確保など、どのような点に留意したのか。

答弁 「新しい高崎」の理念と基本政策の実現に向け、徹底した事業費の削減、重点事業の積極的な推進、人件費の圧縮の三つを基本方針に掲げ、市内経済の活性化と市民福祉の充実に向けた予算編成に取り組んだ。

質疑 農業者新規創造活動支援の内容は。また新規就農者の初期投資や経営安定の道筋をどう考えるか。

答弁 支援内容には、6次産業化等推進事業補助やブランド商品開発事業補助などのメニューがある。また、資金的な支援策として、農業次世代人材投資事業を活用し、農業機械の導入などの初期投資や経営が安定するまでの生活資金などを支援していきたい。

質疑 ホテル招致は喫緊の

課題だが、調整のポイント。また、駅西口ペDESTリアンデッキで商業施設がつながったことへの効果は。

答弁 高崎駅周辺の変化に視点を置き、駅周辺の状況や今後の動向などの調査や分析を行い、グレードの高いホテルを招致するため、専門業者に調査を依頼する。また、駅西口と商業施設等との接続により相乗効果が生まれ、駅周辺の集客力と回遊性が向上し、にぎわいの創出につながっている。



発展し続ける高崎市(吉井町吉井)

公明党

小野 聡子 議員

質疑 経済的に困窮する世帯に支給される就学援助費は、国の交付要綱の改正で、入学前にできるようなった。ランドセルなどを購入する時期に支給できれば、負担が軽減されると思うが、本市の所見は。

答弁 義務教育の就学援助として、入学準備金を小学校入学前の必要とされる時期に支給できるように対応を進めている。また、トイレの洋式化率は、小・中学校で約44%、公民館で約60%である。今後も施設の利用状況やトイレの使用状況に合わせた整備を進め、洋式化率の向上に努めていく。

市民クラブ

堀口 順 議員

質疑 本市は、今後も大型事業が続き、約1000億円近い事業費が見込まれる。大型事業終了後の償還期を迎える後年度の財政運営が



新町駅バリアフリー整備
手話通訳者の配置
松本賢一 (新風会)

質問 JR新町駅のエレベーター整備における設置場所や工事期間など概要は。

答弁 上り線と下り線のホームにある跨線橋の階段付近に1基ずつ設置する予定で、車椅子利用者も想定し、11人乗りのエレベーターを計画している。また、併せて跨線橋の耐震補強工事を実施する。工期は、本年度から実施設計を行い、JR東日本と協議し平成30年末を目途に工事に着手、おおむね2年の工事期間を見込んでいる。

質問 手話を使用するろう

者が障害者支援SOSセンターを利用する場合に、必要となる手話通訳者をセンターに設置する考えは。

答弁 手話が必要とする聴覚障害者が障害者支援SOSセンターを利用する際、常時配置された手話通訳者による対応が望ましいが、現在、市登録の手話通訳者が少ない。手話通訳者派遣事業でも人員的な面での対応に苦慮していることから、障害福祉課配置の手話通訳者や職員で対応し、利用状況に応じ検討していきたい。



介護をめぐる問題
歴史文化の振興
依田好明 (日本共産党)

質問 特別養護老人ホームで最期を看取るケースが増えているが、本市の対応は。

答弁 国の基準が一部改正され、施設に対して配置医師による対応方針を義務付ける規定が定められ、医療との連携が強化された。また、国の報酬改定により、看取り介護加算が強化され

懸念材料だが、市の考えは。

答弁 大型プロジェクトが進行しているが、事業の実施に当たり、国の補助金や施設整備基金の他に、合併特別事業債など交付税措置のある有利な起債を活用し、後年度の負担を抑制するよう努めている。このような取り組みのもと、将来に向けた財源の均衡化を継続的に進め、健全な財政運営に努めていきたい。

日本共産党

依田 好明 議員

質疑 保育需要が高まる中で保育士の人材の確保と処遇改善への取り組みは。

答弁 保育士を目指す学生、育児や家庭の事情などにより、保育現場から離れている潜在保育士が、積極的に就職活動を行えるよう、高崎市保育協議会と協力して保育園・こども園ドリームバスツアーや就職説明会を開催している。また、保育士の処遇改善に関しても国の給付費の段階的な引き上げに適切に対応している。



SNSを活用した相談体制
中学校部活動指導員
新保克佳 (公明党)

質問 自殺願望のある若者が犠牲となった座間市の事件を受け、本市はどのような取り組みにつなげたのか。また、SNSを活用した相談体制を設置する考えは。

答弁 本市では各中学校の生徒会役員を対象にリーダー研修を行い、SNSの使用について個人情報を書き込まないなどの高崎ルール



調査が進む国分尼寺跡

館者が訪れている。今後実施中の事業を継続し、文化財が地域の誇りとして存続できるよう、関係機関や地域の方と協力して取り組んでいきたい。

を作成した。また、悩みを把握するため、学校での毎月のアンケートの他に教育センターでは電話相談の時間延長やメール相談窓口を新設した。SNSでの相談は、携帯電話の所持を助長することにつながる。今後の推移を見ながら研究していきたい。

質問 中学校部活動指導員の運用は。

答弁 具体的な運用はまだ示されておらず、今後の国や県の動向を注視していきたい。担当教諭を置く事で指導員を顧問として活用できるのではと期待している。運用指針を作成し、技術指導だけでなく部活動の教育的意義を踏まえた指導を行うよう研修していきたい。

さらに詳しい内容は会議録で

本会議や委員会の内容を記録した会議録は、市議会ホームページ(会議録検索)や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については5月下旬に公開予定です。

- ・市民情報センター(市役所1階)
- ・高崎市立図書館(本館及び地区館)
- ・倉洲公民館図書室



同意した人事案件

- ・固定資産評価審査委員会委員 松本 権 氏
- ・人権擁護委員候補者 木内タノシ 氏
- ・人権擁護委員候補者 横田 公一 氏
- ・人権擁護委員候補者 采女 英幸 氏

市政を問う

一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問することをいい、毎定例会で行われます。

一般質問のあらましを質問者順に掲載しています。